

行政とボランティアによる連携ワークショップ (広島市災害ボランティア本部運営ワークショップ企画案)

◆ 実施概要

主催：内閣府（防災担当）

日時：2018年3月23日（金）13:30～16:30

協力：広島市、広島市社会福祉協議会、広島市災害ボランティア連絡会議構成団体

会場：広島市総合福祉センター 5階 団体交流スペース

参加者：調整中（※10数名程度を想定。）

オブザーバー：調整中（※10名程度を想定。）

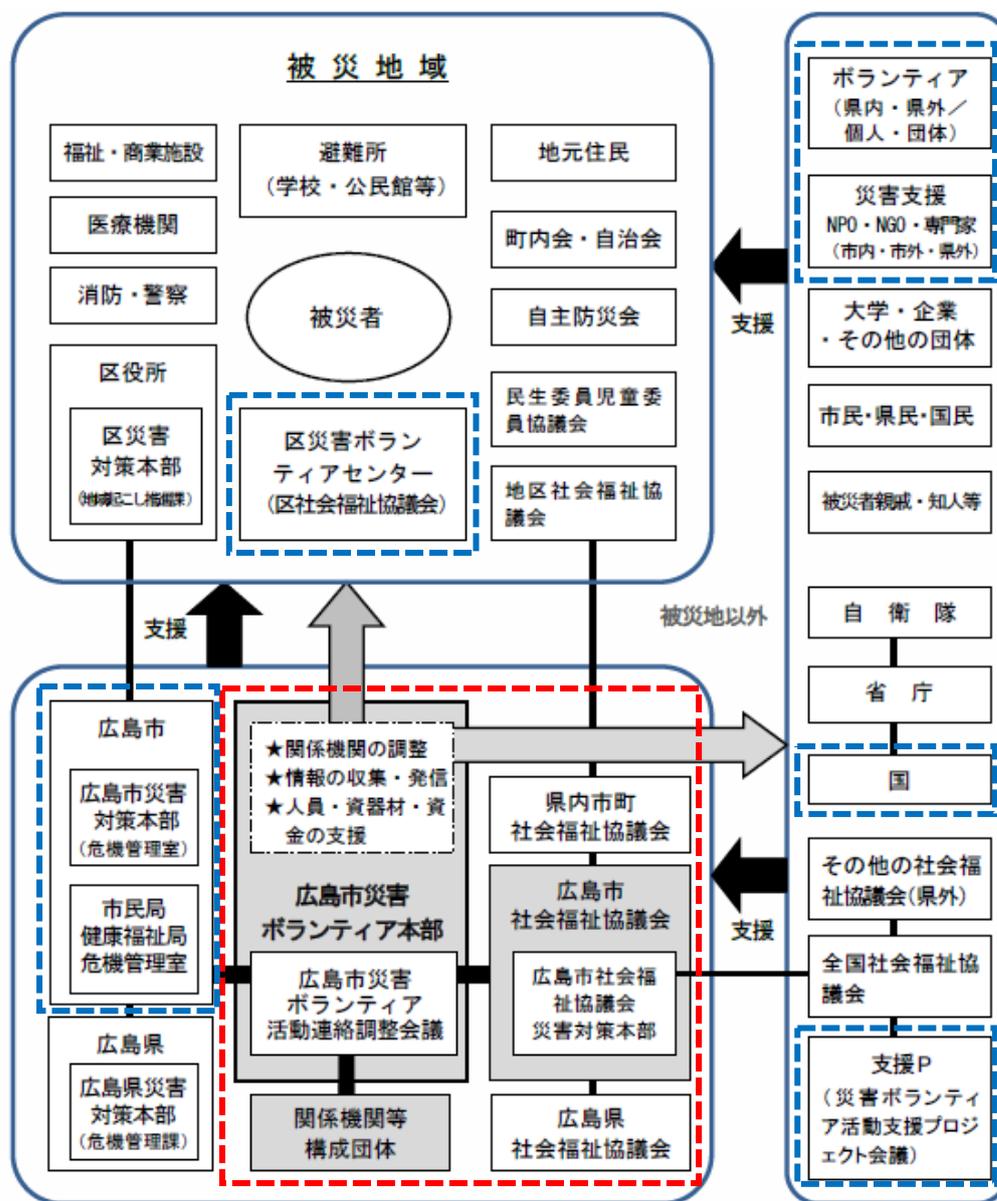
アドバイザー：2名（弘中委員、明城委員）

◆ ワークショップの目的

広島市では、大規模災害時に「関係機関の調整」「情報の収集・発信」「人員・資器材・資金の支援」を実施し、災害支援のための円滑なボランティア活動に必要な環境整備とボランティアが効率的に活動を行うための支援の実施を目的とした「広島市災害ボランティア本部」が設置運営されることが規定されている。

「広島市災害ボランティア活動連絡調整会議」を中心として、行政・社会福祉協議会・地元のNPO・企業・組合等、災害対応・支援に関わる主体が平時からの連携体制を構築し、災害時の体制づくりを進めている。

本ワークショップは、広島市における災害時のボランティアとの連携体制（広島市災害ボランティア本部）をベースとし、災害時の体制・予想される課題への対応について関係機関・団体によるワークショップ形式での検討を行う機会を設けるものである。近年の災害時に実施される行政とボランティアとの連携事例を織り込み、被災者支援活動が効率的に行われるための本部運営について、関係者の理解促進を図ることを目的とする。



市災害ボランティア本部（赤枠）とワークショップに参加予定の関係機関（青枠）

◆ プログラム（案）

近年の災害時には、各地で災害対応に関わる関係機関によるボランティア活動を円滑に実施するために、関係機関・団体の担当者が情報を共有し、被災者支援活動を円滑に行うための会議体が設置される事例が増えている。「広島市災害ボランティア本部」は平時からその体制を構築し、市内の関係機関を中心に区災害ボランティアセンターと災害ボランティア活動の調整を担う組織としての機能を有することが想定されている。平成26年の土砂災害の教訓も踏まえて「広島市災害ボランティア本部運営マニュアル」が改訂され、政令市における取組として今後のさらなる進展が期待される。

本プログラムでは、H26年の土砂災害および昨年の8月に広島市で実施された訓練

時の想定災害を使用し、災害発生から 3 日後を想定した市災害ボランティア本部の運営に関する 2 つのワークショップを実施する。小講義も織り込みながら、合計 3 時間でのワークショップ実施を企画している。

【プログラム (案)】

スケジュール	内容	担当
①オープニング (5分)	・開会挨拶	内閣府
②講義 (30分)	・本年度内閣府業務の紹介 (15分) ・近年の災害時の連携事例と JVOAD の取組 ～ (仮題) (15分)	内閣府 明城氏 (予定)
休憩 (5分)		
③ワークショップ概説 (5分)	・ワークショップの進め方について説明 (※ワークショップ中は進め方についての スライドを表示。ワークショップ進行の資料 も配布。)	事務局
④ワークショップ 1 (20分)	・H26年の土砂災害を想定災害とし、調整班・ 情報班・支援班の役割の理解を図る。	事務局
休憩 (10分)		
⑤ワークショップ 2 (60分)	・昨年度広島市で実施された訓練で用いられた M7の地震を想定災害とし、調整班・情報 班・支援班の課題をグループで検討する。 ・本部運営において想定される課題とボラン ティアとの連携について検討する。	事務局
休憩 (5分)		
⑥ふりかえり (40分)	・アドバイザーによるコメント (行政側・ボ ランティア側からの視点をコメント) ・参加者による WS の感想・課題の共有 ・ボランティアに関する質疑応答 (事前に質 問用紙を配布し、それに対する回答も含む。) ・今後の取組 (平時・災害時) に関する協議 ・アンケート記入	事務局
⑦クロージング (5分)	・閉会挨拶	内閣府

◆ **期待される効果**

- 広島市災害ボランティア本部運営の理解促進
 - ・ 本部員ミーティングのシミュレーションを通じた認識の深化
 - ・ 本部会議のシミュレーションを通じた認識の深化
- 広島市災害ボランティア本部運営における外部関係機関の役割、被害・被災者状況に関わる情報収集チャンネルの把握
- 広島市災害ボランティア本部を軸としたボランティアとの連携の可能性の検討

◆ **事前配布資料（予定）**

- ・ 研修テキスト・概要
- ・ 研修会で使用された各委員の資料
- ・ 近年の災害時の行政とボランティアの連携事例
- ・ 被害想定・被害状況（H26の土砂災害・昨年の広島市訓練に準拠して作成）
- ・ 付与情報シート
- ・ ボランティア関連の用語に関する説明資料
- ・ ボランティアに関する不明点・懸念点（事前アンケート）

◆ **ワークショップの参加者・オブザーバー・評価者（候補）**

参加者（候補） ※10 数名程度を想定

広島市災害ボランティア連絡会議構成団体

(社)広島市社会福祉協議会

広島市民生委員児童委員協議会

日本赤十字社広島県支部

(公財)広島YMCA

広島市地域女性団体連絡協議会

日本ボーイスカウト広島県連盟

(一社)ガールスカウト広島県連盟

(一社)広島青年会議所

広島商工会議所

連合広島 広島地域協議会

特定非営利活動法人ひろしまNPOセンター

SeRV広島

特定非営利活動法人コミュニティーリーダーひゅーるぽん

特定非営利活動法人 ANT-Hiroshima

カトリック広島司教区平和の使徒推進本部

広島県災害復興支援士業連絡会

生活協同組合ひろしま
（公社）青年海外協力協会中国・九州支部
特定非営利活動法人もりメイト倶楽部 Hiroshima
特定非営利活動法人ひろしま自然学校
（公財）広島市文化財団
広島市防災士ネットワーク
広島市市民局市民活動推進課

区災害 VC（区社会福祉協議会職員）
全国社会福祉協議会
NPO（県外・県内）
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）

オブザーバー（候補） ※10名程度を想定。

内閣府（防災担当）
国土交通省 中国地方整備局
市災害対策本部担当職員
（広島市危機管理室災害予防課、広島市健康福祉局健康福祉企画課）
市職員（他市町村からの応援派遣職員含む）
区災害 VC（区社会福祉協議会職員）
全国社会福祉協議会
支援 P
全国災害ボランティア支援団体ネットワーク（JVOAD）
NPO（県外・県内）
その他関係機関

以上